

NSK

iCart Prophy2

取扱説明書

MADE IN JAPAN



目次

1はじめに.....	2
1.1使用者・使用目的.....	2
1.2関連取扱説明書.....	2
1.3安全上の注意.....	2
1.4シンボル.....	4
1.5製品廃棄.....	6
1.6保証.....	6
2製品情報.....	7
2.1同梱物.....	7
2.2各部の名称.....	8
3使用前の準備.....	10
3.1コントロールユニットの設置.....	10
3.2各ホースの接続.....	11
3.3電源コード、各ホースの支柱への配線と収納方法.....	12
4使用方法.....	14
4.1注水ボトルセット・CLMボトルセット(オプション)の着脱.....	14
4.1.1取り付け.....	14
4.1.2取り外し.....	15
4.1.3ボトル用蓋の開閉.....	15
4.2使用前点検.....	16
5治療後のメンテナンス.....	17
5.1準備.....	17
5.2清掃.....	18
5.3オートクリーニング・洗浄.....	18
5.3.1オートクリーニング.....	18
5.3.2洗浄.....	19
5.4水回路のメンテナンス(オプション).....	20
5.4.1CLMモードの準備.....	20
5.4.2CLMモード.....	21
5.4.3ボトル用蓋(注水ボトルセット).....	23
5.4.4CLMボトルセット(オプション).....	24
5.5保管.....	24
6保守.....	25
6.1Oリングのメンテナンス.....	25
6.1.1注水ボトルセット・CLMボトルセット.....	25
6.1.2圧抜きキャップ.....	25
6.2エアーフィルター.....	26
6.3定期点検.....	26
6.4消耗品の交換.....	26
7トラブルシューティング.....	27
8スペアパーツ・別売品一覧.....	28
9仕様.....	29

1 はじめに

1.1 使用者・使用目的

■ 使用者

歯科医師、歯科衛生士

■ 使用目的

iCart Prophy2は、Varios Combi Pro2の設置を意図しており、またVarios Combi Pro2の外部注水コネクターに水ボトルモジュールを接続して給水することも意図している。

本章以降、iCart Prophy2は「カート」、Varios Combi Pro2は「コントロールユニット」と略記します。

1.2 関連取扱説明書

組み合わせて正しくお使いいただくために、以下の取扱説明書をご参照ください：

取扱説明書タイトル	取扱説明書No.
Varios Combi Pro2 取扱説明書	OM-DE1023JA

1.3 安全上の注意

- ご使用の前に必ずこの安全上の注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 危険事項の説明は、製品を安全にお使いいただき、使用者や他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。
危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに分類しています。いずれも安全に関する内容ですから、必ずお守りください。

注意の区分	危害や損害の大きさと切迫の程度
▲ 警告	「重度の人身障害または物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています。
▲ 注意	「軽度の人身障害または物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています。
お知らせ	「故障や性能低下を起さないためにお守りいただきたいこと、仕様や性能に関して知っておいていただきたいこと」を説明しています。

▲ 警告

環境

- 本製品は使用・保管環境範囲外、または結露による水滴が付く場所で使用、または保管しないでください。故障の恐れがあります。⇒「9 仕様」

指定品

- 本製品に同梱されている付属品、または弊社純正品(指定品)以外を使用しないでください。使用した場合の事故や故障については使用者の責任になります。

EMC

- 圧抜きキャップは磁石を搭載しているため電子機器の近くに置かないでください。電子機器の作動に影響をおよぼす恐れがあります。

▲警告

設置

- ボトルは落下等の強い衝撃を与えないでください。また、ひびや傷の付いたボトルは、絶対に使用しないでください。そのまま使用するとボトルが破損してその破片でケガをする恐れがあります。

▲注意

環境

- 給気圧0.45-0.75 MPaの乾燥した清浄な空気を使用してください。指定範囲外での使用は、噴射圧(パワー)不足、注水不足、動作不良、故障およびボトルの破裂によるケガの原因になります。
- 注水ボトルには、必ず塩分濃度0.5%以下、温度35°C以下の水を使用してください。それ以外の液体を使用した場合、水詰まり、金属部の腐食などの恐れがあります。

指定品

- 弊社指定以外のホース、または劣化したホースを使用しないでください。使用すると以下の恐れがあります。
 - 接続・固定できない
 - ホースの損傷/脱落
 - 水漏れ/工アー漏れ
- 弊社指定以外のボトルを使用しないでください。使用すると以下の恐れがあります。
 - 接続・固定できない
 - ボトルの破損によるケガ
 - 水漏れ

購入後

- 初回使用前に注水ボトルセットを洗浄してからご使用ください。

接続

- 各ホースを無理に抜かないでください。ホースや部品の破損の原因になります。

カートの取り扱い

- 設置作業の際は、キャスター停止バーをロック位置にし、カートが動かないようにしてください。
- 中板にボトルを置いている場合は、移動時に落ちないように注意してください。ボトルが落下し、破損の原因になります。

▲ 注意

- ・ カートを移動する際は、以下に注意してください。対応しなかった場合、積載物の落下、またはカートが転倒する恐れがあります。
 - －キャスターのロックが解除されていることを確認し、必ずカートのハンドル部分を持って、ゆっくり移動してください。
 - －電源コード、ホースを取り外してください。
 - －凹凸のない場所を通って移動させてください。やむをえず、凹凸のある場所を移動する場合は、コントロールユニットを手で支えながら移動してください。
- ・ 移動中に壁などにぶつかると塗装が剥がれる恐れがあります。

使用前

- ・ 必ず使用前に、各接続部を取り付けて作動させ、点検を行ってください。⇒「4.2 使用前点検」。そのとき、少しでも異常を感じた場合は、使用を中止して販売店まで連絡してください。
- ・ 長期間使用していない機器を使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認してください。
- ・ 感染予防のため、保護眼鏡、マスク、汚染されていない清潔なグローブを着用してください。

使用中

- ・ 移動の際は電源コードとホース(3.6m)の届く範囲内で移動させてください。
- ・ 注水ボトル、またはCLMボトルを取り外す際は、ボトルリリースボタンを押してから取り外してください。無理に取り外した場合、カートのボトル接続部が破損する恐れがあります。
- ・ フットコントロールを使用する際は、必ず床に置いて使用してください。

保守

- ・ 取扱説明書に記載されていない改造・分解をしないでください。

保管

- ・ 注水ボトルを使用しない場合は、異物の混入を防止するため、必ず圧抜きキャップをカートのボトル接続部に装着してください。

1.4 シンボル



禁止/ 誤った処理/ 間違い



行ってください/ 正しい処理/ 正しい



聞く(クリック音)



注意

	温度
	飲料水
	EU が定めた安全や健康に関し標準(安全)規格を満たした製品
	製造業者
	カタログ番号(製品番号)
	シリアル番号
	製造日
	使用期限
	温度制限
	湿度制限
	気圧制限
	湿気厳禁
	壊れもの/取扱い注意
	上方向
	同一包装貨物又は商品を一番下の包装貨物の上に積み重ねる場合の最大積み重ね段数。

1.5 製品廃棄

廃棄時の作業者の健康上のリスク、廃棄物による環境汚染のリスクを防ぐため、医療機器の感染性廃棄物は医師、または歯科医師が非感染状態であることを確認し、特別管理産業廃棄物の許可業者に運搬または処分を委託してください。不明な点は購入した販売店まで連絡してください。

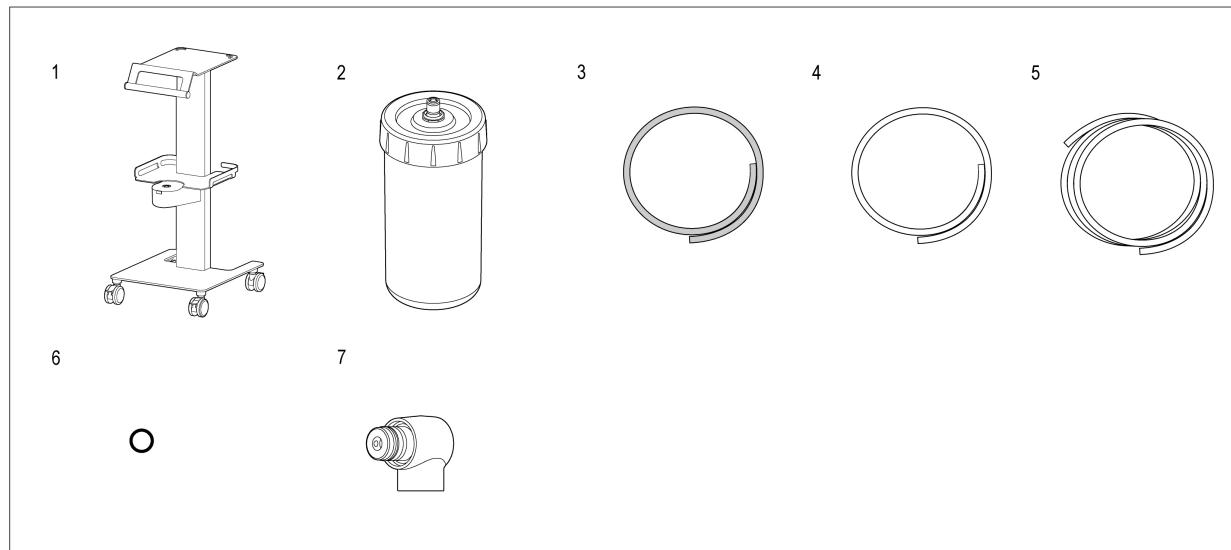
1.6 保証

本体には登録カード、保証書が添付されています。使用する前に登録カードを記入の上、返送してください。また保証書は、必ず「販売店印および購入日」を確認の上、購入した販売店から受け取り、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。なお、本保証は製品本体のうち、水ボトルモジュールのみが対象となります。保守部品の弊社の保有期間は、製品の製造を中止してから7年です。この期間を修理可能期間とします。

修理が必要な場合は販売店まで連絡してください。

2 製品情報

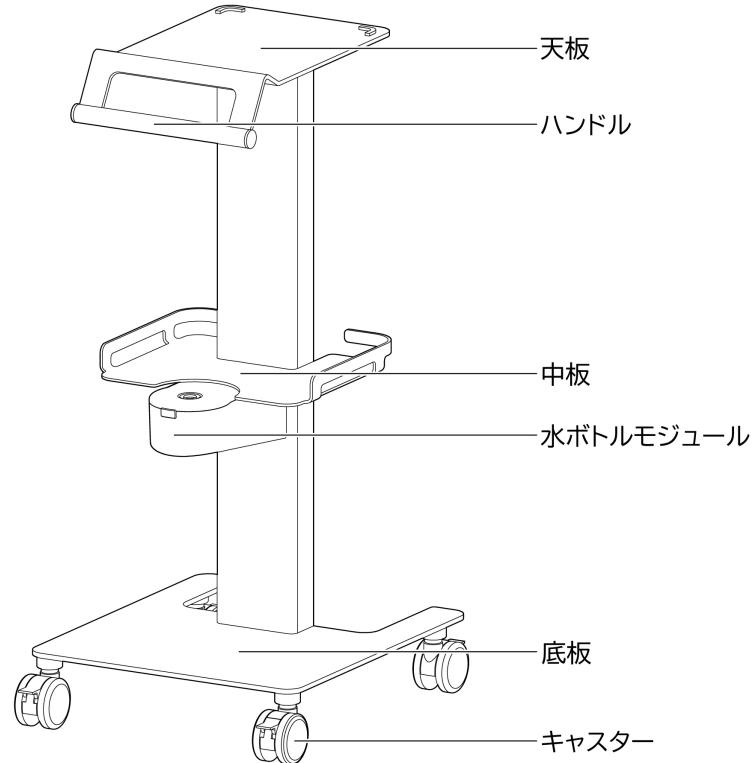
2.1 同梱物



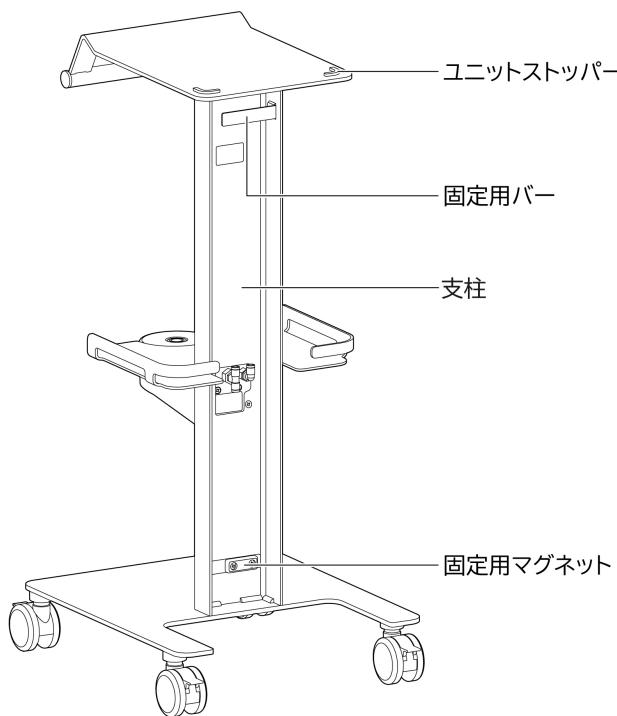
番号	製品名	数量
1	iCart Prophy2	1
2	注水ボトルセット	1
3	水ホース	1
4	ホース(0.7 m)	1
5	ホース(3.6 m)	1
6	Oリング	1
7	圧抜きキャップ	1

2.2 各部の名称

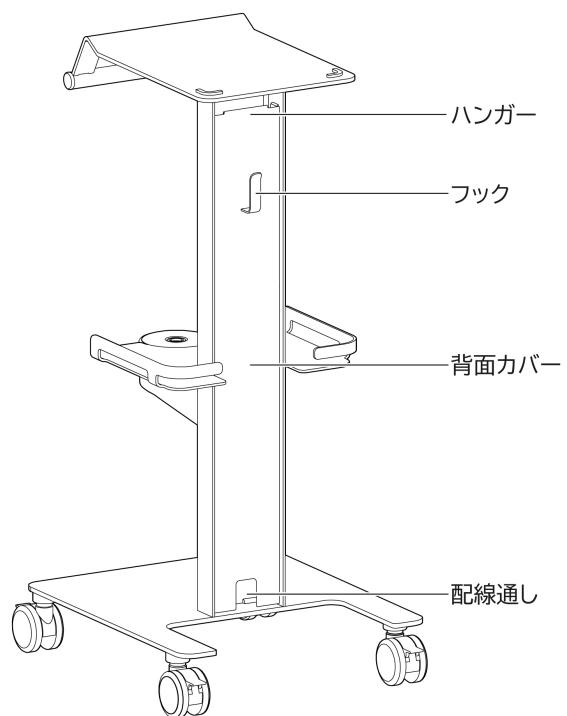
■ iCart Prophy2



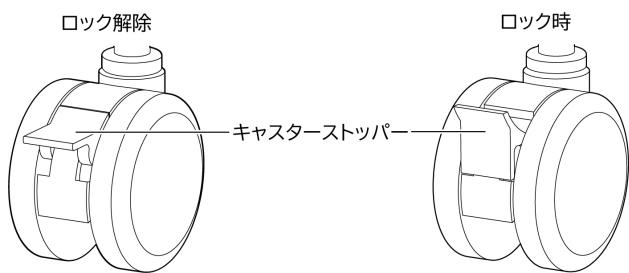
■iCart Prophy2(背面カバー無)



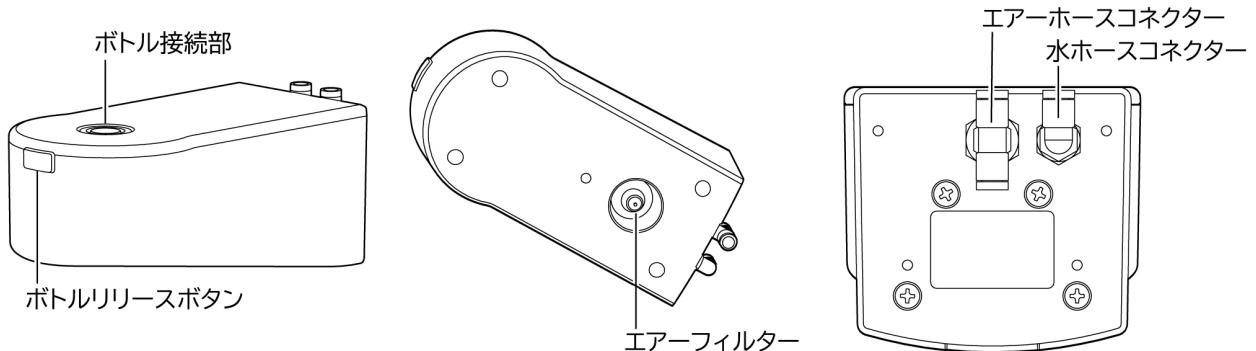
■iCart Prophy2(背面カバー有)



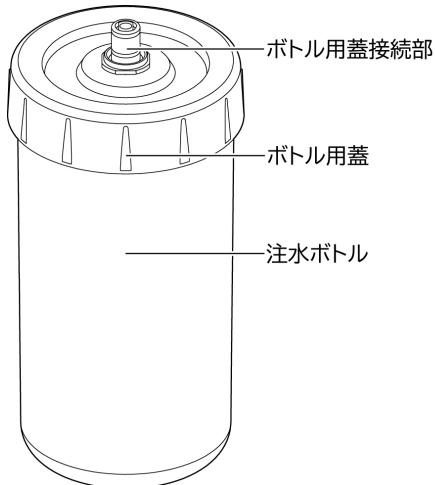
■ キャスター



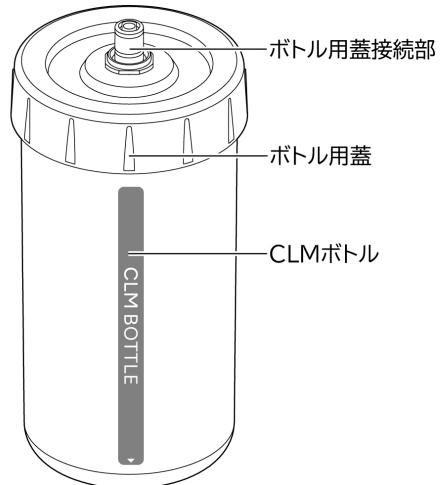
■ 水ボトルモジュール



■ 注水ボトルセット



■ CLMボトルセット(オプション品)

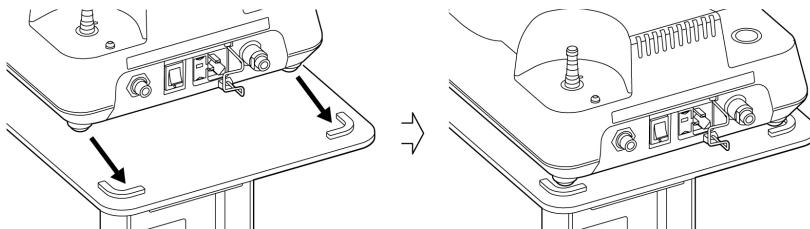


3 使用前の準備

3.1 コントロールユニットの設置

コントロールユニットを設置する際に、天板が汚れていないことを確認してください。液体やパウダー等が付着している場合は、清掃してください。

1. カートが動かないように、カートのキャスター停止バーをロックします。
2. カート天板の ユニット停止バーの位置にコントロールユニットのゴム足を合わせて設置します。



3. 電源コードを接続します。

電源コードの接続方法は、OM-DE1023JA Varios Combi Pro2 取扱説明書を参照してください。

▲ 注意

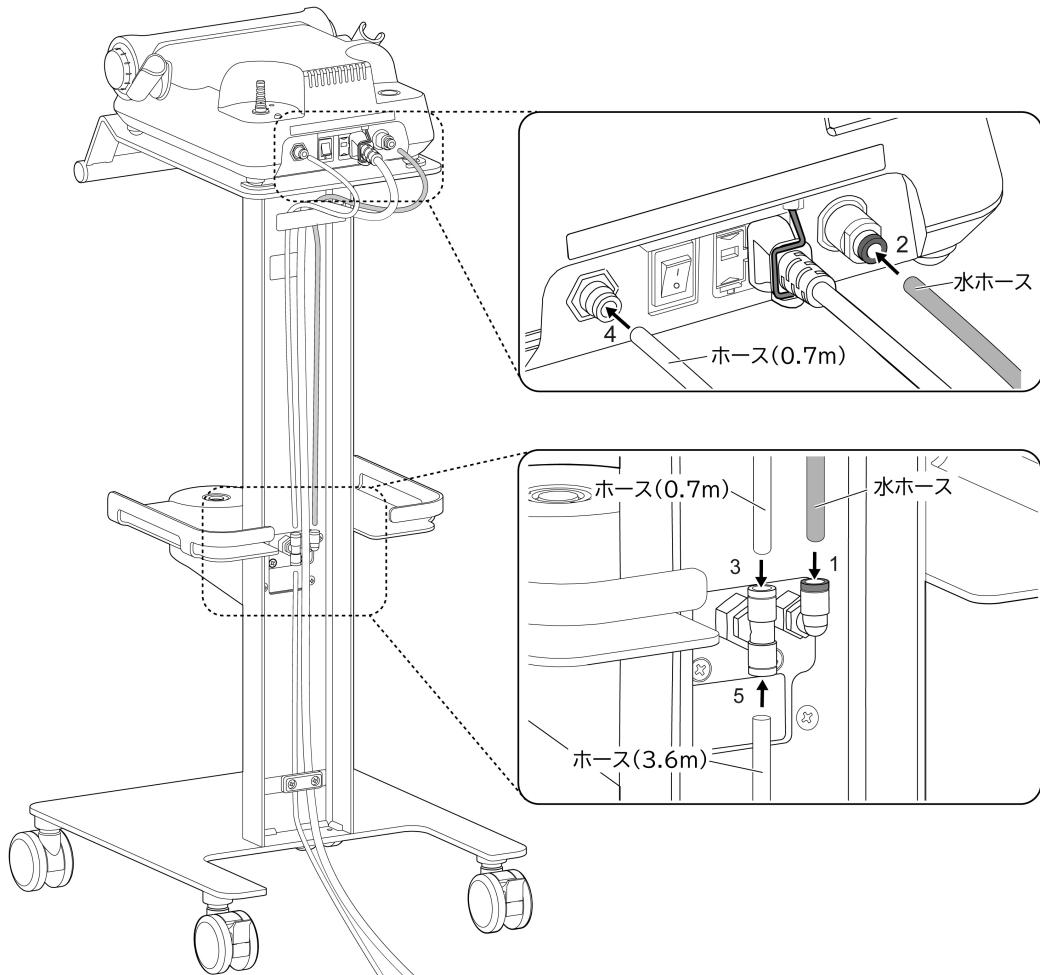
- コントロールユニットは必ず、カート天板のユニット停止バーの位置にコントロールユニットのゴム足を合わせて設置してください。それ以外の位置に設置した場合、コントロールユニットが不安定になり落下する恐れがあります。
- 指定のコントロールユニットをカート天板に設置してください。それ以外のものを設置した場合、落下の恐れがあります。

3.2 各ホースの接続

各ホースに損傷、折れがないこと確認します。

■ 水ホース/ホース

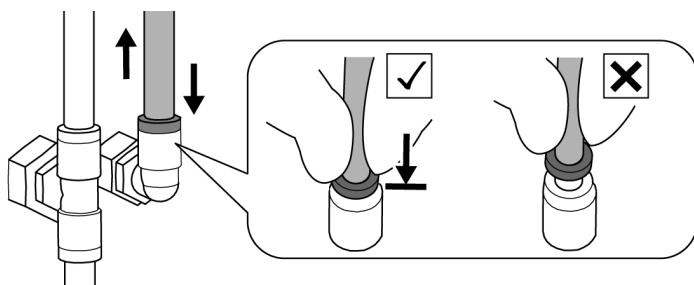
1. 水ホースをカートの水ホースコネクター(緑リング)に挿し込みます。
2. 水ホースをコントロールユニットの水ホースコネクター(緑リング)に挿し込みます。
3. ホース(0.7 m)をカートのエアーホースコネクター(白リング)に挿し込みます。
4. ホース(0.7 m)をコントロールユニットのエアーホースコネクター(白リング)に挿し込みます。
5. ホース(3.6 m)をエアーホースコネクター(白リング)に挿し込み、供給元に接続します。



6. 水ホース・ホースを軽く引いて抜けないことを確認します。

取り外し:水ホースコネクターの緑色のリングを押しながら水ホースを引き抜きます。

エアーホースコネクターの白リングを押しながらホースを引き抜きます。

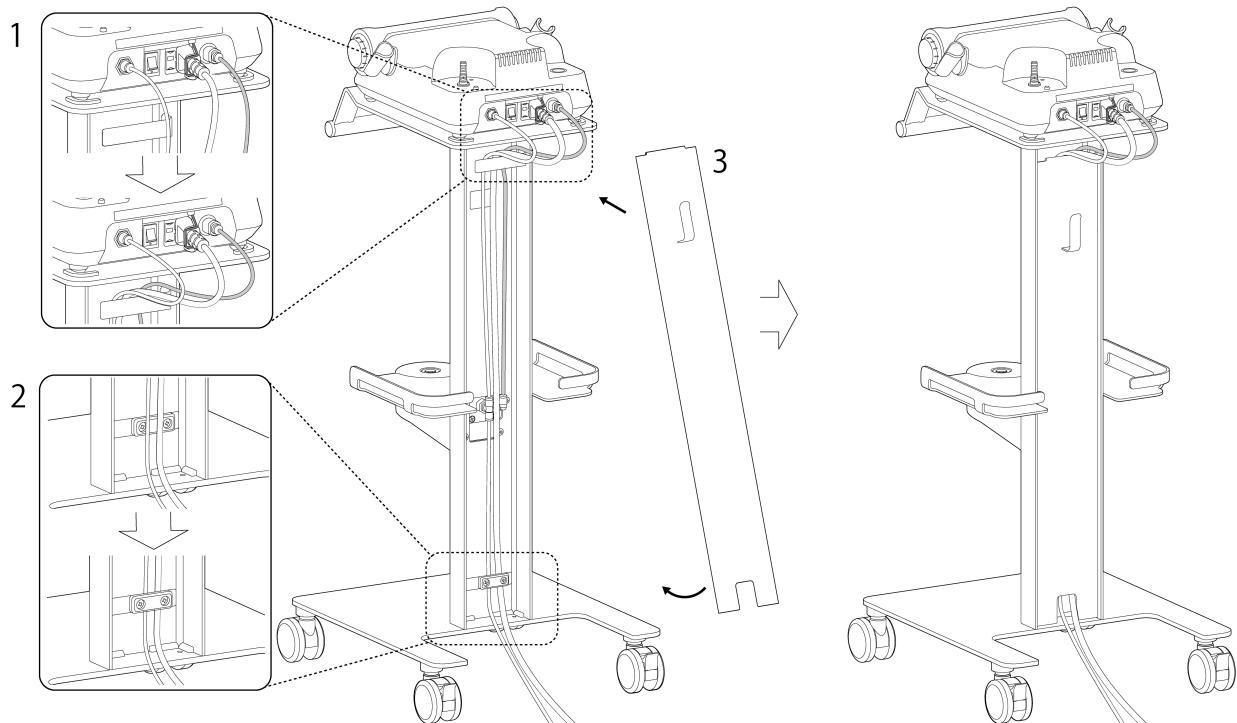


▲ 注意

- ・ 各ホースをコネクターに接続する際は、奥まで確実に挿し込んでください。挿し込みが不十分ですと水漏れ、エアー漏れの恐れがあります。
- ・ 水ホースは必ず水ホースコネクター(緑リング)に接続してください。水ホースをエアーホースコネクター(白リング)に接続した場合、コントロールユニット内に水が浸入し、故障の原因になります。
- ・ 水ホースを取り外す際は、必ずコントロールユニットのオートクリーニングを行い、水ホース内の水を抜いてください。
- ・ ホースは必ずエアーホースコネクター(白リング)に接続してください。
- ・ 各ホースを無理に抜かないでください。ホースや部品の破損の原因になります。
- ・ 必ずエアーが止まっていることを確認してからホースを着脱してください。

3.3 電源コード、各ホースの支柱への配線と収納方法

1. コントロールユニットの電源コード、ホース(0.7 m)、および水ホースをカートの支柱にある固定用バーに通します。
2. 電源コード、ホース(3.6 m)をカートの支柱下部にある固定用マグネットの背面に通します。
3. 背面カバーのハンガーをカートの支柱にある固定用バーにかけ、支柱下部の固定用マグネットに固定します。その際に、電源コードとホース(3.6m)は背面カバーの配線通しに通します。
4. 各ホースおよびその接続部に、損傷・折れ・挟み込みなどの異常がないことを確認します。



※背面カバーを取り外す際は、背面カバーの配線通しに手をかけて手前に引き固定用マグネットから外して、上にスライドさせて取り外します。

▲ 注意

- ・ 背面カバーを着脱する際は、フックを持たないでください。フックが破損する恐れがあります。
- ・ フックには、電源コード・ホース類以外のものを掛けないでください。フックが破損する恐れがあります。
- ・ 電源コード・ホースの接続後は、必ず電源コード・ホースを支柱に通して背面カバーを取り付けてください。
- ・ 背面カバーを取り付ける際は、以下に注意してください。
 - 一電源コード・各ホースを背面カバーと支柱に挟み込まないでください。電源コード・各ホースの破損・断線の原因になります。
 - 一各ホースを収納する際にたるみがないことを確認してください。たるんだ状態で各ホースを収納すると、水ホースやホースが折れて注水不良やエアー供給ができない恐れがあります。

4 使用方法

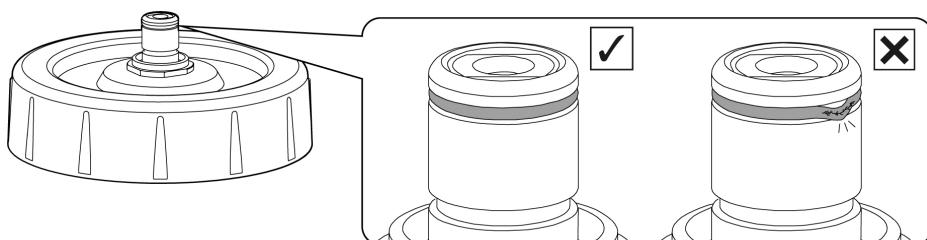
4.1 注水ボトルセット・CLMボトルセット(オプション)の着脱

本取扱説明書では「注水ボトルセット・CLMボトルセット」をボトルと表記します。

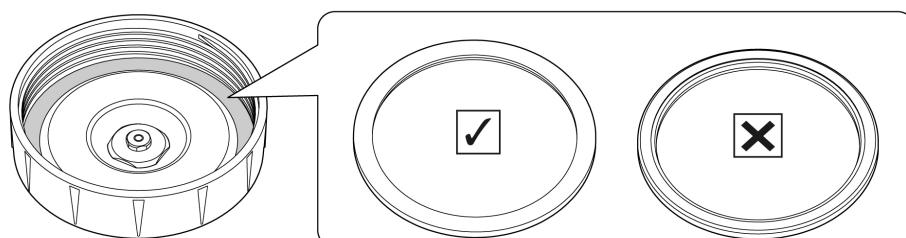
4.1.1 取り付け

1. 各部を確認します:

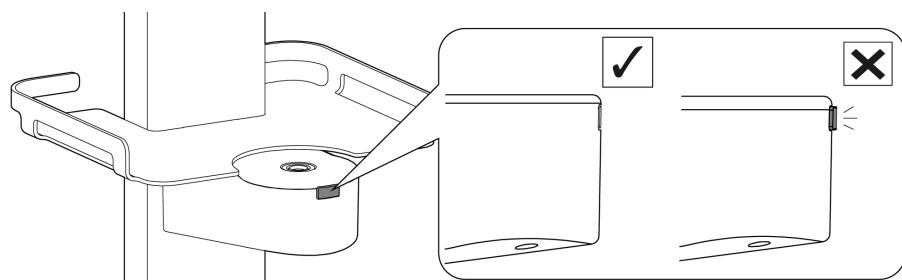
- ボトルのボトル用蓋接続部にOリングが取り付けられていること、破損していないことを確認します。



- ボトル用蓋にパッキンが正しく取り付けられていることを確認します。



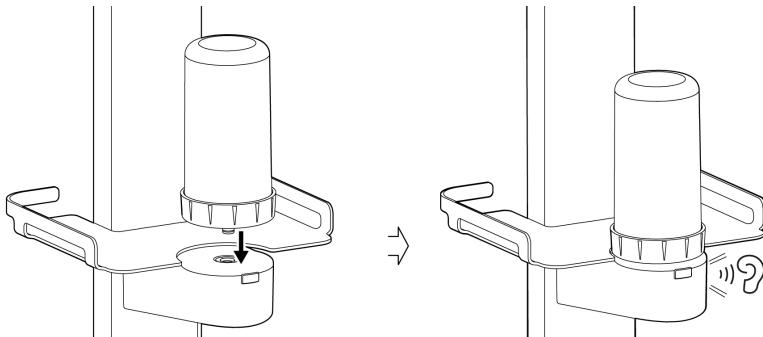
- ボトルとボトル用蓋に傷がないことを確認します。
- カートのボトルリリースボタンが以下の 図の状態であることを確認します。



の場合は、ボトルリリースボタンを押して、 の状態にしてください。

- 2. 各ボトルにそれぞれ指定の水、消毒液を注ぎ、ボトル用蓋を締めつけ、漏れがないことを確認します。(注水ボトル:水、CLMボトル:CLM 用消毒液)

3. ボトルのボトル用蓋接続部をボトル接続部にまっすぐ力チッと音がするまで挿し込みます。



※挿し込み後、接続部から水が漏れている場合は、ただちにボトルリリースボタンを押してボトルを抜いてください。

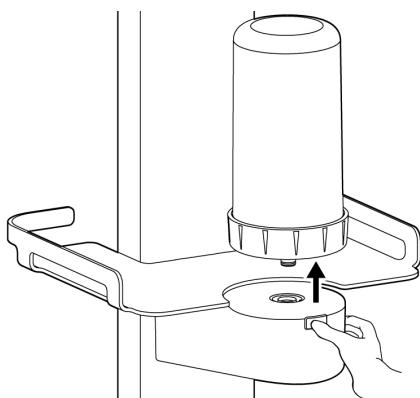
ボトル用蓋を締め直しても水漏れが解消しない場合は販売店へご連絡してください。

▲ 注意

- ・ ボトル用蓋のパッキンの向きを誤ると、水漏れの原因になります。
- ・ ボトル用蓋はしっかり締め付けてください。水漏れの原因になります。
- ・ ボトル用蓋は弊社指定のパッキンを取り付けてください。弊社指定以外のパッキンを取り付けた場合、水漏れ等の不具合の原因になります。
- ・ 各ボトルはまっすぐ挿し込んでください。ボトルを傾けて挿し込むとOリングの損傷の原因になります。

4.1.2 取り外し

ボトルを手で支えながらカートのボトルリリースボタンを押して注水ボトルを取り外します。



4.1.3 ボトル用蓋の開閉

▲ 注意

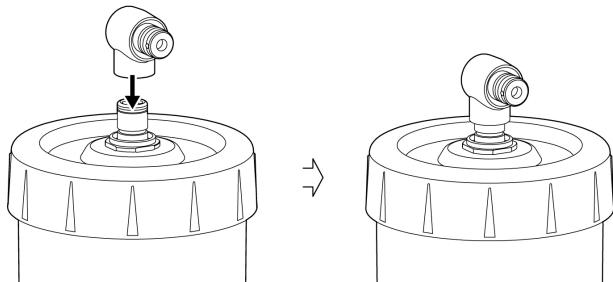
- ・ ボトル用蓋を緩める前に、必ず圧抜きキャップを使用しボトル内部のエアーを抜いてください。圧抜き前のボトルには最大で0.2 MPaの圧力がかかっており、圧抜きせずに無理に緩めた場合、急激な圧力解放により以下の恐れがあります。
 - 大きな音が発生する。
 - 水が飛び散る。

▲ 注意

- ボトル内部のエアーを抜く際は、薬液または水が噴き出しますので布を当てるなどして周りに飛び散らないよう注意して圧抜きしてください。

■ ボトルの圧抜き

ボトル用蓋接続部に圧抜きキャップを挿し込み、圧抜きキャップを押しながらボトル内部のエアーを抜きます。



ボトル用蓋接続部からエアーが抜ける音が出なくなるまで押し続けます。

4.2 使用前点検

使用前に患者がいない状態で本製品の以下を確認します。

■ 水ボトルモジュール

エアー漏れや水漏れがないことを確認します。

■ ボトル

注水ボトルセットに傷や劣化、水漏れがないことを確認します。

ボトル用蓋とボトル本体に刻印されている有効期限を確認し、期限が切れていないことを確認します。

■ ホース

各接続部のホースに損傷、折れ、挟み込み等がないことを確認します。

■ 動作確認

「1.2 関連取扱説明書」に記載の「OM-DE1023JA Varios Combi Pro2 取扱説明書 3.15 使用前点検」を参照して動作確認をします。

点検中、また使用中に異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し販売店まで連絡してください。

▲ 注意

- フットコントロールは床に設置し、カートの底板に置いたまま使用しないでください。カートが転倒する恐れがあります。

お知らせ

- コントロールユニットの使用方法についてはVarios Combi Pro2 取扱説明書を参照してください。

5 治療後のメンテナンス

⚠ 警告

- 清掃、消毒で使用する消毒液は添加物(第4級アンモニウム塩)が含まれない消毒用エタノールまたは消毒用イソプロパノールを使用してください。それ以外の消毒液を使用した場合、変色やひび割れ等の原因になります。
※詳細については、消毒液のメーカーにお問い合わせください。
※本取扱説明書では、添加物(第4級アンモニウム塩)を含まない消毒用エタノールまたは消毒用イソプロパノールを「消毒用アルコール」と表記します。
- 各国の規制およびガイドラインに従って、適切な消毒用アルコールを使用してください。
- 製品の洗浄、消毒に関しては、地域の指令、基準、ガイドラインなどに必ず従ってください。
- この取扱説明書で指定された過酸化水素水(濃度0.3%)および消毒剤製品のみを使用してください。
- 洗浄、浸漬、拭き取りの際には、電解酸化水(強酸性水、超酸性水)、強酸性やアルカリ性の薬品、塩素系溶剤、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 製品を適切にメンテナンスしないと、感染症、製品の故障、注水量低下による火傷を引き起こす恐れがあります。
- 製品の寿命と製品の正常な動作能力は、主に使用中の機械的ストレスによって決まります。使用前や使用中に振動、異音などの異常を感じた場合や、外装の刻印(製造番号や型番)が読めなくなった場合は、ただちに使用を中止し、販売店まで連絡してください。
– 外部マーキングの消失は、修理の保証対象外です

5.1 準備

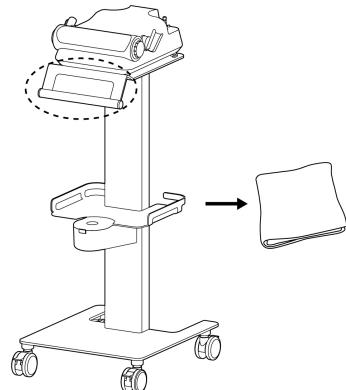
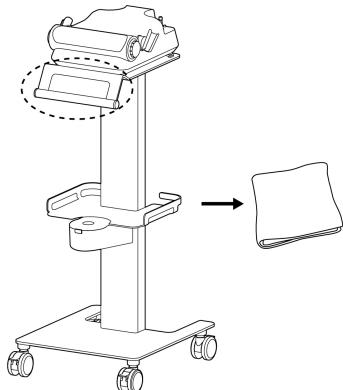
感染予防のため、保護眼鏡、マスク、汚染されていない清潔なグローブを着用します。



5.2 清掃

患者の治療終了毎に、以下の手入れを行います。

1. カートのハンドルの表面の汚れを、水を含ませた布(毛羽立たないもの)で拭き取ります。
2. カートのハンドルの表面を消毒用アルコールを含ませた布(毛羽立たないもの)で拭き取ります。



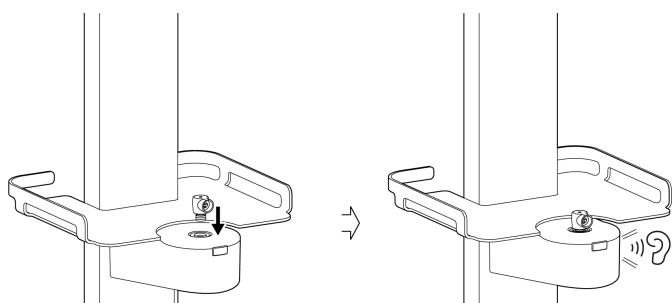
5.3 オートクリーニング・洗浄

終業時または必要に応じて以下の作業を行ってください。

オートクリーニングは、コントロールユニットに搭載されている機能を使用します。

5.3.1 オートクリーニング

1. 圧抜きキャップをカートのボトル接続部に挿し込みます。



2. オートクリーニングを行います。

オートクリーニングについては、「1.2 関連取扱説明書」に記載の「OM-DE1023JA Varios Combi Pro2 取扱説明書 5.2 オートクリーニング、7.3.3 正しいクリーニングモードプログラムの選択」を参照してください。

3. オートクリーニング完了後、圧抜きキャップを持ちながらボトルリリースボタンを押して圧抜きキャップを取り外します。

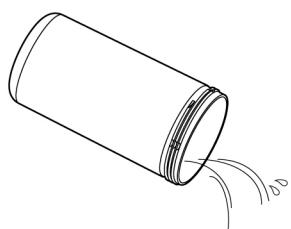
▲警告

- 終業後、必ず水回路のオートクリーニングを行ってください。適切に実施しない場合、感染症、つまり等の原因になります。

5.3.2 洗浄

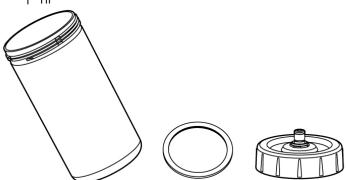
■ 注水ボトルセット

1. 注水ボトルの水を廃棄します。

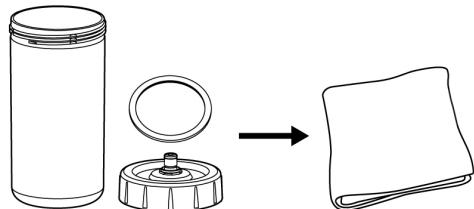


2. ボトル用蓋のパッキンを取り外します。
3. 注水ボトル、ボトル用蓋およびパッキンを流水下で15秒間すすぎます。

$\geq 15\text{ 秒}$ $\leq 38^\circ\text{C}$ $\geq 3.5\text{ L/min}$



4. 注水ボトルの内側と外側およびボトル用蓋の外側、パッキンを消毒用アルコールを含ませた布(毛羽立たないもの)で拭き取ります。

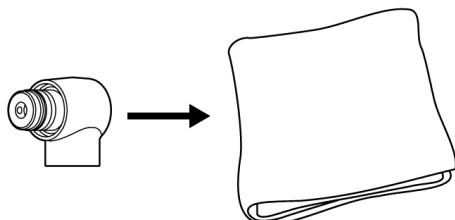


■ 圧抜きキャップ

1. 圧抜きキャップを流水下で15秒間すすぎます。

$\geq 15\text{ 秒}$ $\leq 38^\circ\text{C}$ $\geq 3.5\text{ L/min}$

2. 圧抜きキャップを消毒用アルコールを含ませた布(毛羽立たないもの)で拭き取ります。



5.4 水回路のメンテナンス(オプション)

コントロールユニットの機能を使用して過酸化水素水(濃度0.3%)で水回路を消毒します。

水回路のメンテナンス前に必ずオートクリーニング、洗浄を行ってください。

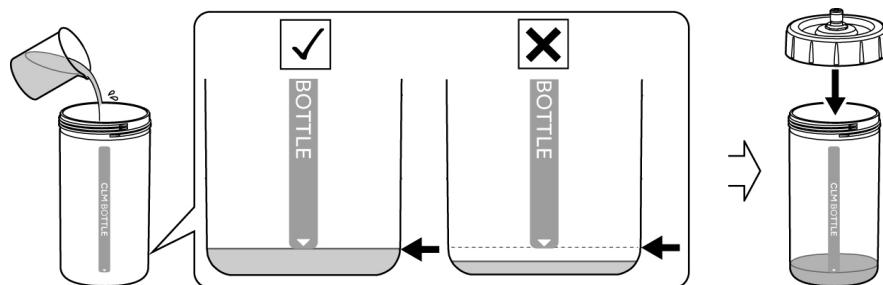
本章では水回路のメンテナンスを総称してCLMモードと表記します。

！警告

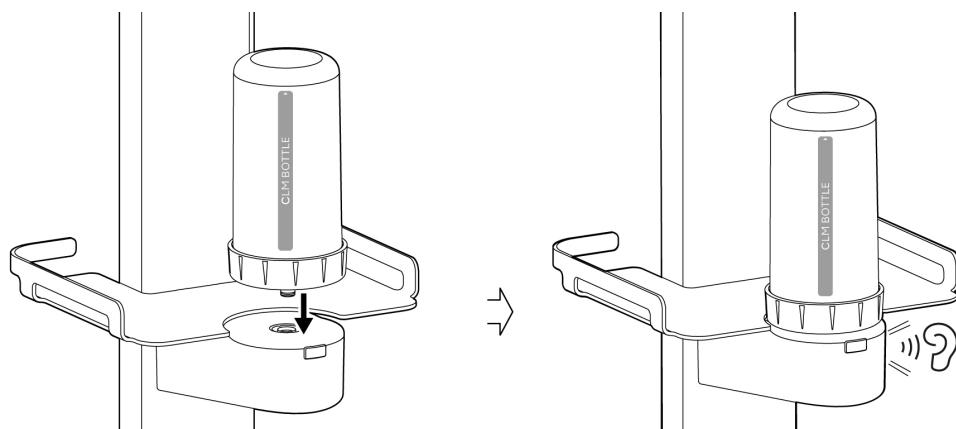
- 過酸化水素水(濃度0.3%)を使用して水回路を消毒してください。
- 終業後、必要に応じてCLMモードを行ってください。適切にメンテナンスしない場合、感染症、回路のつまり等の原因になります。
- CLMモードでは薬液を使用するため、CLMモードが終了するまでは使用できません。
- 本製品のお手入れには、本取扱説明書に指定されている過酸化水素水(濃度0.3%)・消毒剤を使用してください。本書で指定されている消毒剤以外を使用すると、本製品の故障、メンテナンス不良、患者への感染の原因になることがあります。

5.4.1 CLMモードの準備

- CLMボトルに過酸化水素水(濃度0.3%)を注ぎ、ボトル用蓋を締めます。漏れがないことを確認します。



- CLMボトルをボトル接続部にまっすぐ挿し込みます。



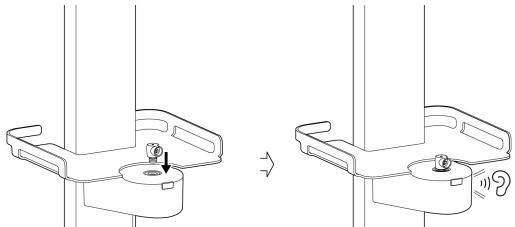
5.4.2 CLMモード

■ 充填

1. 「1.2 関連取扱説明書」に記載の「OM-DE1023JA Varios Combi Pro2 取扱説明書 5.10.1 準備」を参照し、過酸化水素水（濃度0.3%）の充填およびCLMモードの準備を行います。
2. 水回路への薬液の充填が完了すると以下の画面がコントロールユニットに表示され、が点滅します。

3. ボトルリリースボタンを押して、カートからCLMボトルを取り外します。

4. CLMボトルに圧抜きキャップを挿し込み、ボトル内部のエアーを抜きます。
5. CLMボトルをすすぎます。⇒「5.4.4 CLMボトルセット（オプション） ■すすぎ」参照
6. カートに圧抜きキャップを挿し込みます。



7. コントロールユニットの電源をOFFにします。消毒のため12時間以上静置します。

▲ 注意

- 薬液の充填後、CLMボトルは必ず外してボトル内部のエアーを抜いてください。圧力をかけたまま長時間放置すると早期故障の恐れがあります。

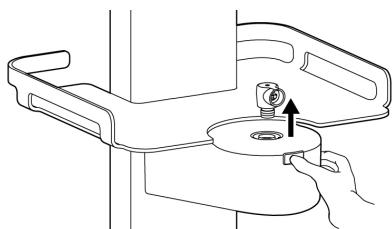
5 治療後のメンテナンス

■ すすぎ

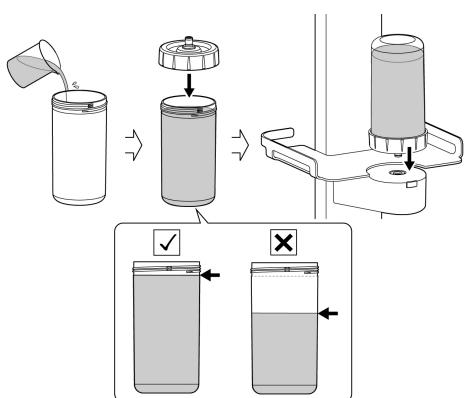
1. 12時間後、コントロールユニットの電源をONにすると通知音が鳴り、以下の画面が表示され  が点滅します。



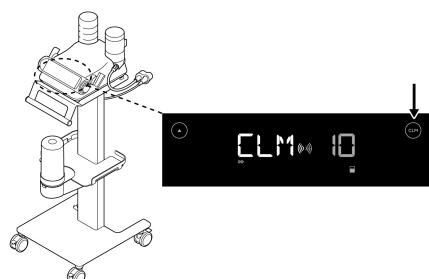
2. 圧抜きキャップを取り外し、洗浄します。⇒「5.3.2 洗浄 ■圧抜きキャップ」



3. 消毒済みの注水ボトルに水を注ぎ、ボトル用蓋を締め、注水ボトルをボトル接続部にまっすぐ挿し込みます。

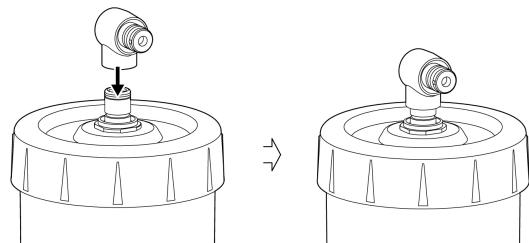


4. コントロールユニットのCLMボタンを3秒間押します。

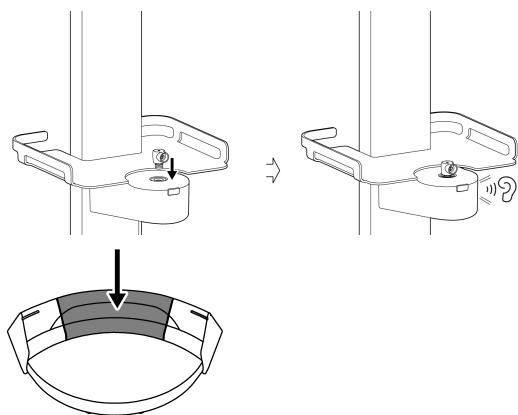


CLMモードについては、「1.2 関連取扱説明書」に記載の「OM-DE1023JA Varios Combi Pro2 取扱説明書 5.10.2 CLM モード」を参照してください。

5. CLMモード完了後、注水ボトルをボトル接続部から取り外します。
注水ボトルに圧抜きキャップを挿し込み圧抜きをします。



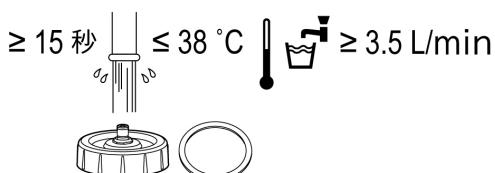
6. 圧抜きキャップをカートのボトル接続部に挿し込み、フットコントロールの「操作モード/リンスボタン」を15秒間押し続けて、水を排水します。



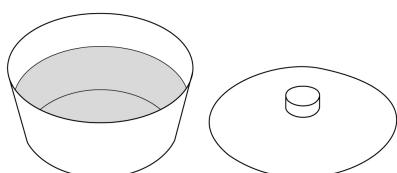
5.4.3 ボトル用蓋(注水ボトルセット)

■ 消毒

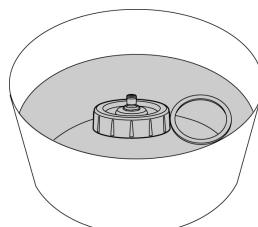
- ボトル用蓋のパッキンを取り外します。
- ボトル用蓋とパッキンを流水下で15秒間すすぎます。



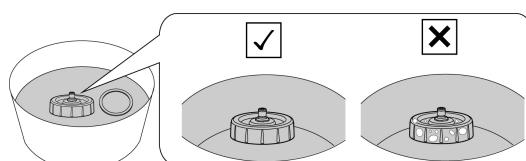
- 容器に過酸化水素水(濃度0.3%)を注ぎ、ボトル用蓋の全体が完全に浸かるまで液面を調整してください。



- ボトル用蓋とパッキンを過酸化水素水(濃度0.3%)に浸します。

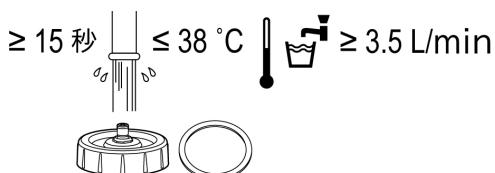


- ボトル用蓋に気泡などがないことを確認します。
消毒液の揮発を防ぐため、容器を密閉し、12時間放置します。
※気泡がついている場合は取り除いてください。

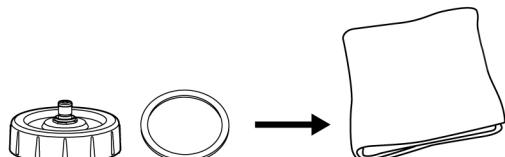


■ すぎ

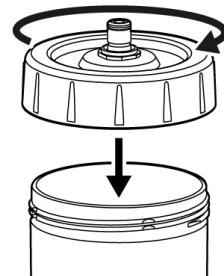
- 過酸化水素水(濃度0.3%)からボトル用蓋とパッキンを取り出し、流水下で15秒間すすぎます。



- 清潔で乾いた布(毛羽立たないもの)で、ボトル用蓋とパッキンの表面についた水を拭き取ります。



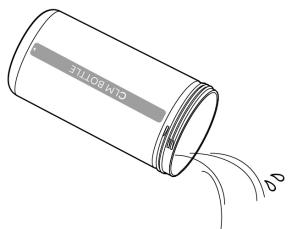
- パッキンをボトル用蓋に取り付けます。
- 注水ボトルにボトル用蓋を締め付けます。



5 治療後のメンテナンス

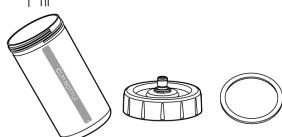
5.4.4 CLMボトルセット(オプション)

- CLMボトルから過酸化水素水を廃棄します。

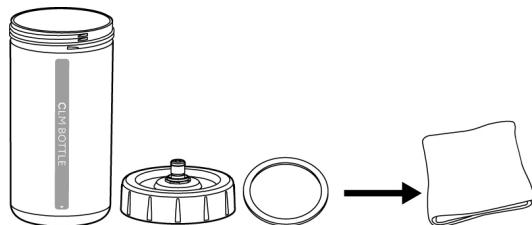


- ボトル用蓋からパッキンを取り外します。
- CLMボトル、ボトル用蓋およびパッキンを流水下で15秒間すすぎます。

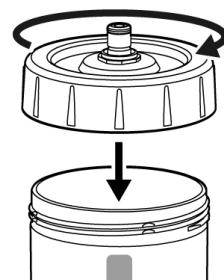
$\geq 15\text{ 秒}$ $\leq 38^\circ\text{C}$ $\geq 3.5\text{ L/min}$



- 清潔で乾いた布で、CLMボトル、ボトル用蓋およびパッキンの表面についていた水を拭き取ります。

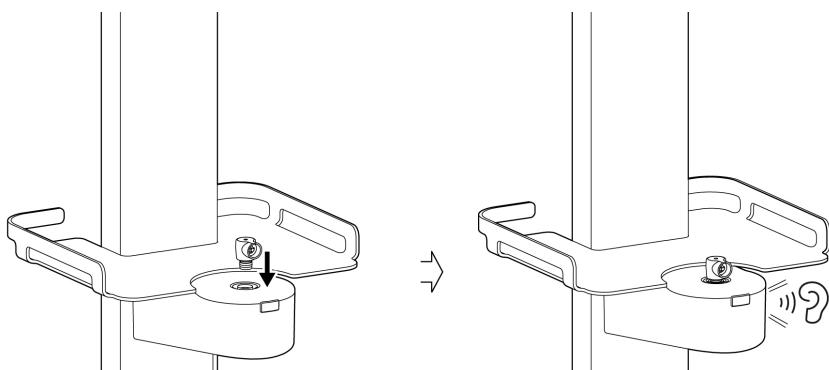


- ボトル用蓋にパッキンを取り付けます。
- CLMボトルにボトル用蓋を締め付けます。



5.5 保管

オートクリーニング後、圧抜きキャップをカートに装着して保管します。



使用するまで、清潔な状態を保てる環境で保管してください。

▲ 注意

- 保管前に必ずオートクリーニングを行い、水回路から水を抜いてください。オートクリーニングについては、「1.2 関連取扱説明書」に記載の「OM-DE1023JA」を参照してください。
- 必ず圧抜きキャップをカートに装着して保管してください。エアー圧がかかった状態でボトルを挿したまま保管すると、ボトルの早期破損につながる恐れがあります。
- 「9 仕様」に記載の温度、湿度、気圧の範囲内で直射日光の当たらない換気のよい場所で保管してください。また、ほこり、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生じる恐れのない場所に保管してください。

6 保守

6.1 Oリングのメンテナンス

対象部位のOリングの摩耗や水漏れを防ぐためにOリングのメンテナンスを行ってください。

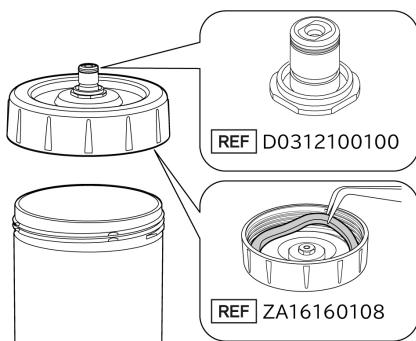
6.1.1 注水ボトルセット・CLMボトルセット

■ ボトル用蓋接続部

1. 針などを使用して、ボトル用蓋接続部からボトルのOリングを取り外します。
2. 新しいOリングを溝に挿入します。

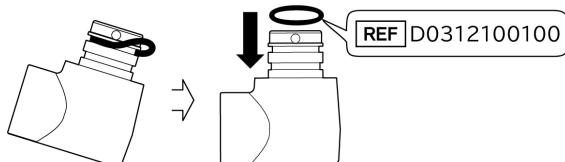
■ ボトル用蓋

1. ボトル用蓋からパッキンを取り外します。
2. 新しいパッキンをボトル用蓋に取り付けます。



6.1.2 圧抜きキャップ

1. 圧抜きキャップのOリングを取り外します。
2. 新しいOリングを圧抜きキャップに取り付けます。



▲ 注意

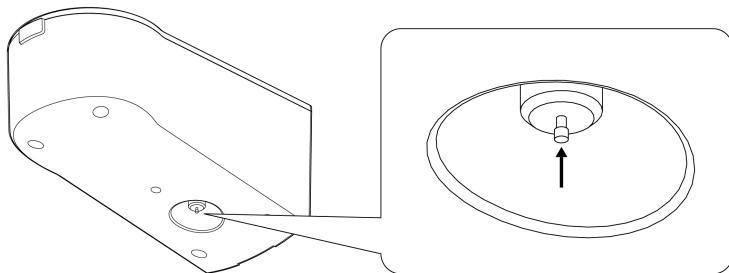
- Oリングのねじれがないことを確認してください。

6 保守

6.2 エアーフィルター

エアーフィルターは定期点検の点検項目になります。「6.3 定期点検」を参照して定期的に点検してください。

1. エアーの供給元のバルブを開け、カートにエアーを供給します。
2. エアーフィルターのボタンを押して、エアーフィルター内に溜まった水を排出します。



6.3 定期点検

本製品の定期点検は、以下の点検表に基づき、1ヶ月毎に行ってください。点検項目に異常が見られる場合は、販売店まで連絡してください。

点検項目	点検内容
エアーフィルター	カートにエアーを供給した状態で、エアーフィルターのボタンを押し、内部に溜まった水を排出してください。

6.4 消耗品の交換

部品名	交換時期	備考	交換方法
Oリング	3000回使用、または使用開始から1年	ボトル用蓋用	6.1.1 注水ボトルセット・CLMボトルセット
		圧抜きキップ用	6.1.2 圧抜きキップ
パッキン	水漏れ、またはパッキン破損時	ボトル用蓋用	6.1.1 注水ボトルセット・CLMボトルセット

7 ブラックマジック

故障かなと思ったら、修理を依頼する前に以下について再度確認してください。これらのいずれにも該当しない、または処置しても症状が改善されない場合は、本製品が故障している可能性があります。販売店に修理を依頼してください。

※歯科医院では修理できません。必ず販売店に連絡してください。

症状	原因	対策
注水量が少ない	経年使用によるエアーフィルターの目詰まり	エアーフィルターの交換が必要です。 販売店まで連絡してください。
	水ホースの折れ、挟み込み等	「3.3 電源コード、各ホースの支柱への配線と収納方法」を参照し、水ホースを正しく装着してください。
水漏れ (ボトル接続部、水ボトルモジュール底面、注水ボトル、CLMボトル)	ボトル用蓋のOリング、またはパッキンの摩耗	新しいOリング、またはパッキンに交換してください。
	ボトルまたはボトル用蓋の破損	新しいボトル・ボトル用蓋に交換してください。
エアー漏れ	水ボトルモジュール内部の駆動バルブの故障	販売店まで連絡してください。
	水ボトルモジュール内部の空気回路部品の破損	販売店まで連絡してください。
	指定外の供給空気圧力で使用した	供給圧力を確認して指定の圧力に調整してください。 調整後もエアーが漏れる場合は、販売店まで連絡してください。
ボトルが取り外せない	Oリングの摩耗	「6.1 Oリングのメンテナンス」を参照し、Oリングを交換してください。
	水ボトルモジュール内部の故障	販売店まで連絡してください。
キャスターが動かない	キャスターのゴミ詰まり	キャスターの掃除をしてください。掃除しても改善されない場合は、NSK販売店まで連絡してください。
	キャスターの状態	キャスターがロックされていないか確認してください。
背面カバーのガタつき	配線の挟み込み	配線を確認してください。
	固定用マグネットの緩み	固定用マグネットを固定しているねじが緩んでいる場合、ねじをしっかりと締めてください。

8 スペアパーツ・別売品一覧

製品名	REF	備考
注水ボトルセット	ZA16360001	
CLMボトルセット	ZA16370001	
ボトル用蓋	ZA16360100	注水ボトル/CLMボトル用
パッキン	ZA16160108	ボトル用蓋用
Oリング	D0312100100	ボトル用蓋/圧抜きキャップ用
注水ボトル	ZA16160112	ボトルのみ
CLMボトル	ZA16240100	ボトルのみ
水ホース	ZA16140121	0.7 m
ホース	ZA16140122	0.7 m
ホース	UA14210250	3.6 m
圧抜きキャップ	ZA16300001	

9 仕様

型式	iCart Prophy2
ボトル最大容量	950 mL
供給空気圧	0.45-0.75 MPa (4.5-7.5 kgf/cm ²)
供給水圧	0.1-0.2 MPa
寸法	W432×D452×H814 mm (キャスターを含む)
重さ	16.0 kg(注水ボトルを除く)

■ 使用・輸送・保管環境

	温度	湿度	気圧
使用環境	<p>10°C 50°F</p> <p>35°C 95°F</p>	<p>35%</p> <p>75%</p>	-
輸送・保管環境	<p>-10°C 14°F</p> <p>50°C 122°F</p>	<p>10%</p> <p>85%</p>	<p>500 hPa</p> <p>1060 hPa</p>

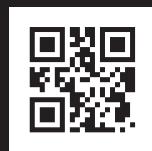
*結露のないこと。

*上記以外の条件で本製品を使用すると誤動作の原因となります。

*最高使用高度:2,000 m

株式会社ナカニシ
〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向 700
TEL:0289-64-3380
nsk-dental.jp

お客様相談窓口
0120-7242-56
9:00-17:00／土日・祝日を除く
cs@nsk-nakanishi.co.jp



ウェブサイトへ
アクセス